

4/1 event
春の火災予防運動

ミス・フレッシュ秋田の小松さん
火災予防を呼びかけ

春の火災予防運動（4月1日から7日）の初日、角館消防署は、一日署長にミス・フレッシュ秋田の小松有沙さん（大仙市）を任命し、武家屋敷の消防設備を視察したあと、スーパーマーケットよねやでパンフレットを配り、火災予防を呼びかけました。

一日署長を務めた小松さんは、「普段は農産物のPRをすることが多いので、一日署長として貴重な体験ができた。火災報知機をまだ取り付けていない方が、少しでも付けようと思ってもらえたらありがたいです」と話しました。

ミス・フレッシュは、秋田県の青果物を全国にPRするため、県とJAグループが組織する「あきた園芸戦略対策協議会」が毎年募集しているもので、小松さんは24代目。



住宅用火災報知機を推進するパンフレットなどを配り、火災予防を呼びかける小松さん
「まだ火災警報器を取り付けていない方は、早めの取り付けをお願いします」

4/1 event
春の火災予防運動 駆け付け訓練

火の取扱いにはご注意を

4月1日～7日まで実施された「春の火災予防運動」初日に、毎年恒例の「駆け付け訓練」を市内3ヶ所で行いました。

この訓練は、火災が発生したことを想定し、迅速に災害場所へ駆け付けるために行っています。

今年は雪融けが遅く、まだまだ暖房器具を使うと思いますが、火の取扱いには十分ご注意ください。



角館地区で行われた駆け付け訓練

3/21 event
「岩手県災害廃棄物受入れに係る向生保内地区連絡協議会」設立

災害廃棄物受入れに市と連携を図る

3月21日、田沢湖一般廃棄物最終処分場周辺の6地区の代表18人で構成された「岩手県災害廃棄物受入れに係る向生保内地区連絡協議会」が設立され、会長に加藤正幸さん（堂田）、副会長に高橋共榮さん（久保）と畠山隆太郎さん（田向）がそれぞれ選出されました。

連絡協議会では放射線量の調査やデータの公表などに協力し、地域の皆さんが安心できる受け入れ体制のために、市と連携を図っていきます。



今後、最終処分場の現地調査や岩手県野田村の視察などを行う予定



写真上から上鎌川停留所、西木公民館停留所、松葉車庫前

3/31 ceremony
羽後交通「松木内線」「岡崎院内線」

半世紀以上の運行に幕

戦後の復興期から今日まで半世紀以上にわたり、地域の発展を支えてきた羽後交通バスの「松木内線」「岡崎院内線」の2路線が、利用者の減少により、3月末日でやむを得ず廃止となりました。

31日夕刻には、上鎌川停留所や西木公民館停留所、松葉車庫前で地元住民が大勢集まり、「ありがとうセレモニー」が行われ、長年の運行に感謝し、バスの運転手に花束が贈呈されました。松葉車庫前では参集者を代表し、地元の武藤次雄さんが「廃止は残念。この路線は私たち地域住民の人生そのものであった。70余年の運行に感謝する」と感謝の言葉を述べました。

その後走り出したバスを、それぞれ思いで見送りました。

3/28 ceremony
文化庁長官表彰

「田園型・創造都市（創造農村）」づくりの取組評価

仙北市が、平成23年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受けました。

この表彰は、行政や住民、企業などが文化芸術の持つ創造性を活用し、地域の活性化に特に顕著な成果をあげている市町村に対し、文化庁が表彰するものです。

行政・企業・市民団体・報道機関などが一体となり、江戸時代からの歴史的町並み、豊かな文化・観光資源、たざわこ芸術村の展開を連携させ、交流人口の更なる増加や文化芸術に携わる雇用の創出を企図した「田園型・創造都市（創造農村）」づくりに取り組んでいることが評価されました。



たざわこ芸術村で開催され、全国から10を超える地域、約90人が参加した第1回創造農村ワークショップ